

小中学校教頭としての役割



茨城県教育研修センター
所長 安藤 昌俊

1

教頭先生はチーム学校のコーディネーター

- 教頭の仕事は校務を整理すること
「整理する」とは、校務全般を俯瞰しマネジメントすること
チームとして効果を上げるためには校務分掌を有機的に繋げる
- 仕事の3割は校長先生相手に、7割は職員相手に
校長先生に接する時間が長すぎると、一人一人の職員の状況が見えなくなってしまう

2

仕事を安心して任せられる教頭先生とは

- 服務関係の法令・通知を熟知していること
職員に聞かれたら、丁寧に詳しく教えられますか
自分でファイルを作成し、覚えるようにしていますか
- 教職員をコントロールできていること
教職員との人間関係は良好に構築されていますか
- 的確な報告・連絡・相談ができること
必要な報告はしっかりと伝えていますか
自分の考えを持って上司に相談していますか

3

小中学校は広報活動を積極的に

- 教頭先生は広報活動のリーダー
学校ホームページ、学校だより、新聞、ラジオ、テレビ
などで教育活動を積極的に広報していますか
- 学校ホームページの創意工夫が重要
校歌や合唱・演奏などを動画配信していますか
児童生徒の保護者が興味を持って毎日チェックする
ようなホームページを作っていますか

4

新しい学校行事を仕掛ける楽しさを味わおう

- 小学校ではより魅力的な体験活動を
例年行っている行事に新たな要素を加えたり、新しい
行事を企画したりする仕掛け人となっていますか
- 中学校ではキャリア教育の体験活動を
中学生の時期に将来のキャリアについて考えさせる
仕掛けをしていますか
偏差値が優れた生徒が将来成功するとは限らないの
は、キャリア教育不足が原因の一つです

5

教頭先生は教員を育てることに重点を置く

- 教員の特長・能力を客観的に把握する
職員室の一人一人の教員の違いを見極めていますか
- 言ってダメなら、やってみせる
言葉で指示や説明しているだけでは教員は育たない
- 教諭の時の実践が役に立つ
生徒指導も教科指導も特別活動も、実践に裏付けられた
指導方法でないと、的確なアドバイスにはなりません

6

教頭先生として1年目にできること

- 信頼できる教員を右腕として育てる
教務主任，生徒指導主事，進路指導主事，学年主任など，右腕となる教員はいま何人いますか
- 様々なトラブルを未然に解決する
生徒指導，地域住民，教員のトラブルなど，教頭が先頭に立って解決していますか

7

最後に～教頭職はやりがいがある仕事～

- 学校の教育活動を仕切る楽しさ
教頭は縁の下の力持ちとして，教員のさまざまな活動を目立たせることに，喜びを感じます
- 教職員や保護者から評価される嬉しさ
教頭の評価は教職員や保護者が行います
離任の時に，教頭先生と一緒に活動できてよかったといわれれば，大成功です
学校を動かしていることにやりがいを感じて下さい

8